

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	夢ステージに挑戦！！農業女子応援事業	
事業主体 (連絡先)	公益財団法人坂村農業公社	
事業区分	(6) イ 農業の振興と農山村づくり	
事業タイプ	ソフト・ハード	
総事業費	2,498,917	円 (うち支援金: 1,638,000 円)

事業内容

- ◎農業公社管理農園での栽培研修
 - ・ビニールハウスを使った野菜栽培
 - ・農業女子仕様軽トラック購入 1台
 - ・研修用ビニールハウス設置 2棟
- ◎フラワーアレンジメント教室
 - ・平成30年2月26日(月)開催 参加者9名
- ◎農業体験会
 - ・平成30年9月9日(土)～10日(日)
 - ・野菜、ぶどうの収穫体験、手打ちうどん、おやきづくり体験 参加者1名
- ◎就農相談会への参加(東京・丸の内)
 - ・平成30年2月4日(日)



【栽培研修】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①フラワーアレンジメント教室の開催により、女性就農者同士の交流が図られました。また、女性にも扱いやすい農業機械を貸し出すことで、男性に頼っていた農作業にも取り組み易くなりました。
- ②施設・農機・車輛等整備により、就農へ導くための環境整備が進みました。また、農業体験会で農村生活を体験してもらい、今後の就農への足がかりができました。
- ③ビニールハウスでの栽培実習で、品質の良い野菜栽培に取り組み、安定した農業経営へと展開する方向付けができました。

- ①現在の就農女子へのサポート
- ②就農希望者受入れへ向けた環境づくり
- ③ビニールハウスを利用して付加価値の高い作物栽培を研修し将来の独立就農へ繋げていく

【目標・ねらい】

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

次年度も継続事業として取り組んでいきます。これまで事業を利用して購入した農業機械の女性農業者への貸し出しや、農業公社管理圃場へ設置したビニールハウスを使った研修を行い、定住女性農業者の就農環境整備を進めていきます。引続き、これらの取組みにより新たな就農希望女子の受け入れ環境の整備も行っていきます。

※自己評価【B】

【理由】
現在の定住女性農業者の就農環境整備が進み、また、次年度からの新たな女子研修生の受け入れに繋がりました。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある